

結城市の鬼怒商業高校にユニークなイメージキャラクターが誕生した。その名も「K・Cレンジャー」と「しょう(商)君」。来年度からの学科改編を機により愛される学校を目指そうと、生徒たちが考案した。(金森定博)

鬼怒商高 生徒たち考案

同校には商業科と情報処理科があり、それぞれ生徒を募集していた。来年度からは「商業に関する学科」として一括募集し、2年次からは商業科か、情報処理科を改めた情報ビジネス科に進む募集方式となる。

キャラクターづくりはこの改編を地域に知ってもらい、中学生や保護者にPRするのが狙い。夏休み前に生徒や家族も含めてアイデアを募集。集まった約100点の中から4点に絞り込み、生徒や職員、PTAの人気投票で2点を選んだ。

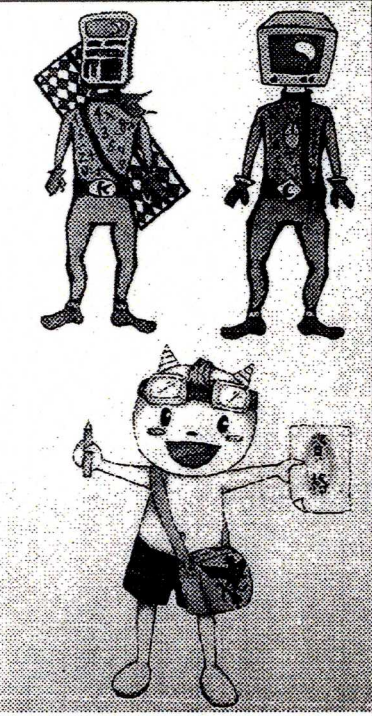
最も人気が高かったのは「K・Cレンジャー」。計算機(K)、コンピュータ(C)を人の顔にあしらった。2位は「しょう(商)君」で鬼がモデルだ。

学校案内やポスターなどに使用するほか、「K・Cレンジャー」には「アクションキャラ」としての活躍も期待。着ぐるみを作り、寸劇を演じたり、来校者を案内したりする。「しょう君」は季節や行事によって持ち物や服装が変わる「ゆるキャラ」を目指す。

いずれも11月2、3日にある文化祭「鬼朋祭」でお披露目の予定だ。

キャラで学校売り込め

来年度から学科改編、地域にアピール



「K・Cレンジャー」(上)と「しょう君」